

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
神奈川県湘南東地域	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	平成 29 年～令和 3 年度	平成 29 年～令和 3 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※ 1) (平成27年度)	目標 (割合※ 1) (令和4年度) A	実績 (割合※ 1) (令和4年度) B	実績/目標※ 2	
排出量	事業系 総排出量	49,587t	48,824t (-1.5%)	43,845t (-11.6%)	773.3%
	1 事業所当たりの排出量	2.2t/事業所	2.2t/事業所 (0.0%)	1.6t/事業所 (-27.3%)	0.0%
	生活系 総排出量	151,898t	150,232t (-1.1%)	141,634t (-6.8%)	618.2%
	1 人当たりの排出量	143.8kg/人	141.9kg/人 (-1.3%)	154.3kg/人 (7.3%)	-561.5%
合 計	事業系生活系総排出量合計	201,485t	199,056t (-1.2%)	185,479t (-7.9%)	658.3%
再生利用量	直接資源化量	28,130t (14.0%)	27,384t (13.8%)	27,853t (15.0%)	-500.0%
	総資源化量	65,829t (29.3%)	67,549t (30.4%)	63,765t (31.0%)	154.5%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	45,706MWh	49,915MWh	50,956MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	6,901t (3.4%)	6,728t (3.4%)	4,916t (2.7%)	0.0%

※ 1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※ 2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目標※ 3	
総人口	711,480 人	714,489 人	740,146 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	667,449 人	683,481 人	699,788 人	201.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	93.8%	95.7%	94.5%	36.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0.0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,520 人	11,979 人	10,393 人	-245.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.6%	1.7%	1.4%	-200.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	32,511 人	19,029 人	29,965 人	18.9%

※ 3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	料金改定	構成市町	排出抑制、排出者負担の原則の継続を図り、適宜直接搬入ごみ及び事業系ごみの料金改定を図る。	H29～R3 (H29～R3)	(茅ヶ崎市・寒川町) 茅ヶ崎市のごみ有料化の実施にあわせて直接搬入手数料の改定を検討 (R4.4.1 より施行)
	12	環境フェア開催、施設見学	構成市町	環境フェアの開催や、学校や地域での環境学習、施設見学会等を継続する。	H29～R3 (H29～R3)	計画通り実施
	13	マイバッグ運動	構成市町	レジ袋を削減するため、レジ袋削減の啓発・マイバック運動の推進に努める。	H29～R3 (H29～R3)	湘南広域都市行政協議会広域環境部会 (湘南エコウエーブ) でエコバッグ推進活動を実施
	14	エコショップ等	藤沢市、茅ヶ崎市	ごみ減量やリサイクルを推進している店を認定する制度の推進に努める。	H29～R3 (H29～R3)	計画通り実施
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別資源の追加	藤沢市	商品プラスチックの分別収集 (有害ごみ・危険ごみの分別)	H29～R3 (H29～R3)	計画通り実施 (R3～)
	22	分別資源の追加	茅ヶ崎市	剪定枝の分別の検討	H29～R3 (H29～R3)	剪定枝の資源化開始 (R3～)
	23	分別資源の追加	寒川町	剪定枝の分別の検討	H29～R3 (H29～R3)	公共施設から出る剪定枝について資源化
処理施設の整備に関するもの	2	(仮称) 茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備事業	茅ヶ崎市	茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設の施設整備	H30～R3 (H30～R3)	焼却処理施設の上屋部の解体 (H30～R1)、焼却処理施設の基礎部の解体工事を実施 (R2～R4)
	1	北部環境事業所 2号炉増設整備事業	藤沢市	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業	H30～R3 (H30～R3)	計画通り実施
	3	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業	茅ヶ崎市	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	H29 (H29)	主要な設備・機器の更新を伴う大規模改修工事を実施 (H27～H29)

	4	北部環境事業所し尿処理施設基幹的設備改良事業	藤沢市	し尿処理施設基幹的設備改良事業		第4次計画において汚泥再生処理センターの新設として変更予定
	5	浄化槽設置整備事業	藤沢市、茅ヶ崎市	浄化槽の設置整備費補助	H29～R3 (H29～R3)	茅ヶ崎市：単独浄化槽から合併浄化槽への転換における計画基数に対する実績の割合としては19.0%となった。 藤沢市：合併処理浄化槽への転換について啓発活動を行うことなどにより計画通り実施。
		石名坂環境事業所更新事業	藤沢市	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業		第4次計画において基幹的設備改良事業として実施予定。
施設整備に係る計画支援に関するもの	32	北部環境事業所2号炉増設整備事業（事業番号1）に対する支援事業	藤沢市	基本計画作成、事業方式検討業務、アドバイザー業務、生活環境影響調査	H29 (H29)	計画通り実施
	34	石名坂環境事業所更新事業に対する支援事業	藤沢市	施設整備基本構想、長寿命化計画作成、生活環境影響調査	R2～R3 (R2～R3)	施設整備基本構想（R2～R3）長寿命化計画及び生活環境影響調査は第4次計画にて実施予定。 （※関連事業については、第4次計画において基幹的設備改良事業として実施予定。）
	35	（仮称）茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に対する支援事業	茅ヶ崎市	旧炉解体事前調査、旧炉解体発注仕様書作成、粗大ごみ処理施設基本構想作成、粗大ごみ処理施設基本計画作成、土壌汚染調査、土壌汚染対策工事発注仕様書作成、生活環境影響調査、測量・地質調査、事業方式の可能性調査、DBO事業者選定アドバイザー	H29～R3 (H29～R3)	粗大ごみ処理施設基本計画（H29）、旧炉解体設計業務（H29～R1）、土壌汚染表層調査（H30）、土壌汚染深度調査（R1）、生活環境影響調査、事業方式の可能性調査（R2）、測量・地質調査、土壌汚染調査（R3）、DBO事業者選定アドバイザー（R3～R5）

	36	北部環境事業所し尿処理施設基幹的設備改良事業に対する支援事業	藤沢市	土壌調査業務、施設整備基本設計、事業方式検討業務、生活環境影響調査等		第4次計画において汚泥再生処理センターの新設として変更予定
	37	藤沢市災害廃棄物処理計画策定事業（北部環境事業所2号炉増設整備事業に係る調査事業）	藤沢市	災害廃棄物処理計画、災害廃棄物処理実行計画骨子（案）	H29 (H29)	H29 計画策定
	38	茅ヶ崎市災害廃棄物処理計画策定事業（（仮称）茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に係る調査事業）	茅ヶ崎市	災害廃棄物処理計画	H31～R1 (H31～R1)	R1 計画策定
	39	寒川町災害廃棄物処理計画策定事業（（仮称）茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に係る調査事業）	寒川町	災害廃棄物処理計画	H31～R1 (H31～R1)	R1 計画策定
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	構成市町	ごみカレンダーへの掲載や関連団体・小売店などの協力による普及啓発の継続	H29～R3 (H29～R3)	計画通り実施
	42	不法投棄対策	構成市町	夜間パトロールの実施やライトの設置、不法投棄防止看板、地元自治会等と連携による不法投棄防止の取り組みの継続	H29～R3 (H29～R3)	計画通り実施
	43	災害時の廃棄物処理	構成市町	湘南東地域で災害時の対策についての協議をし、体制を構築	H29～R3 (H29～R3)	2市1町で協議を行い、被災時の最初の支援要請については湘南東ブロック内で実施することとした。

3 目標の達成状況に関する評価

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の湘南東地域は循環型社会形成を目指し、3Rの推進を行い、ごみの発生抑制、減量化、資源化を図るとともに、広域的かつ総合的に適正な処理施設を整備してきました。

(ごみ処理)

○排出量

事業系排出量の実績値は43,845tで、目標値であった48,824tから4,979tの減となり、目標を達成しました。また、生活系総排出量の実績値は141,634tで、目標値であった150,232tから8,598tの減となり、目標を達成しました。これは、各市町における減量化に向けた各種施策の効果によるものと考えられます。

○再生利用量

直接資源化量は実績値が27,853tで、目標値であった27,384tから469tの増となり、目標達成となりました。

一方、総資源化量は実績値が63,765tで、目標値であった67,549tから3,784tの減となり、目標未達成となりましたが、企業等において容器包装類等に使用されるプラスチック自体が削減される傾向や店頭回収等の行政が把握できない民間ルートの拡大など資源循環をとりまく状況が加速化していることを踏まえると、民間ルートを含めた湘南東地域全体の資源化量としては概ね達成できていると考えられます。

○エネルギー回収量

実績値は50,956Mwhで、目標値であった49,915MWhから1,041MWhの増となり、目標を達成しました。

○最終処分量

実績値は4,916tで、目標値であった6,728tから1,812tの減となり、目標を達成しました。

(生活排水処理)

○公共下水道・集落排水施設等・合併処理浄化槽等・未処理人口

下水道整備地区においては下水道への転換推進、下水道認可区域外においては合併処理浄化槽の普及拡大を引き続き実施しており、概ねは目標を達成できたものと考えられます。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

当該地域においては、市民・町民向けの啓発等、各種施策の効果によりごみの総排出量が減少しており、ごみの排出抑制が進んでいる。

総資源化量については目標未達成となっているが、これは、容器包装類等に使用されるプラスチックの削減等が推進されていることや、店頭回収等の取組みが進んでいることによる影響が大きいと考えられる。こうした中で、2市1町が製造事業者と連携して使用済プラスチック製品の自主回収・リサイクルに係る先進的モデルの形成に取り組むなど、地域全体で資源化の取組みが進められている。

今後も、ごみの排出抑制や資源化のほか、廃棄物処理施設の整備を着実に進め、地域全体で循環型社会の形成に向けて更なる施策の推進を図られたい。

(生活排水処理)

目標には達していないが、総人口の増加がある中で公共下水道の汚水衛生処理人口は増加し、未処理人口の総数も減少していることから、着実に生活排水処理の推進がされていると考える。

今後も神奈川県生活排水処理施設整備構想を踏まえて、地域全体における生活排水処理率の更なる向上を目標として、積極的に浄化槽等の設置を図られたい。